

# 国語科学習案内

## 1 国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指します。

## 2 学習の目標

### (1) 第1学年の目標

- ①社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。
- ②筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにします。
- ③言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

### (2) 第2学年の目標

- ①社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。
- ②論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。
- ③言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

### (3) 第3学年の目標

- ①社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。
- ②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。
- ③言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

## 3 学習の重点

国語科の目標を踏まえ、特に**言語活動を重視**します。

「伝え合う力」とは、適切に表現する能力と正確に理解する能力とを基盤に、人と人との関わり合いの中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言葉によって伝え合う力のことです。社会生活に必要な言葉による伝え合いの大切さを自覚し、「伝え合う力」を高めることで思考力や想像力が養われます。

## 4 学習の進め方

【授業】 とにかく授業が大切です。積極的に学習に取り組んでください。

【家庭学習】

(予習) 教科書を音読しましょう。

新出漢字やわからない語句を調べましょう。

(復習) 授業の内容を振り返って、ノートやワークブックの整理をしましょう。

漢字練習をしましょう。

## 5 評価・評定の方法

【評価の観点】 評価の観点については、全ての教科等に共通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点とします。

### (1)知識・技能

①言葉の特徴や使い方 ②話や文章に含まれている情報の扱い方 ③我が国の言語文化

→漢字や語句などについての知識や理解の深さ、活用する技能について評価します。書写については、行書の基本的な書き方を理解し、字形、文字の大きさ、配列、配置に気をつけて書くことができるかを評価します。

### (2)思考、判断、表現等

A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと

→A に関しては、目的や場面に応じて的確に話したり、聞いたりする能力について、論理的な構成や展開、自分の考えを的確に表現しようと考えて、話したり聞き取ったりしているかで評価します。B に関しては、自分の考えを深め、立場を明らかにして論理的に書き表す能力について、生活や学習の中から見つけた材料を基にして自分の考えをまとめ、作文やその他の文章を書く力について評価します。C に関しては、目的や意図に応じて文章を読み、効果的に活用する能力について、書き手の考えを的確につかみ、論理の展開の仕方をとらえながら文章を読んでいるかを評価します。

### (3)主体的に学びに取り組む態度

(1)および(2)の力を身に付けようと、粘り強く(積極的に、進んでなど)取り組む姿、また自らの学習を調整しようという側面を評価します。

### 【評価の方法】

- 1) 日々の授業への参加・意欲・態度、取り組みへの姿勢を評価します。
- 2) 作文や、書写の作品等、提出物を評価します。
- 3) ワークシート、授業のノートの記入及び提出状況を評価します。
- 4) 定期テストや、漢字小テストの結果などを総合的に評価します。
- 5) 詩の暗唱、古典文の暗唱などを高く評価します。
- 6) テストの点数だけでは評価いたしません。その他の発表物も評価します。
- 7) 国語の自主的な取り組みについても評価します。(例…漢字練習、自主作文など)
- 8) 国語に対して、興味・関心を持った取り組みを評価したいと思います。

1年	教材名	学習活動
4月	朝のルー ◎言葉に出会うために ・野原はうたう ・声を届ける、書き留める、言葉を調べる	・詩を通読し、想像したことや好きな言葉、表現を交流しよう。 ・「野原はうたう」の二つの詩を通読し、速さ・声の強弱・間の取り方・言葉の調子・声の高さを変えて音読しよう。 ・音読と発表の仕方、ノートの手書き方・工夫の仕方、辞典・事典で言葉を調べる方法を理解しよう。
5月	1 学びをひらく ・シンシユン ・情報を的確に聞き取る ・情報整理のレッスン ・情報を整理して書こう ・漢字1 漢字の組み立てと部首 ◎硬筆	・作品を通読し、全体像を捉えよう。 ・場面の展開に沿って、二人の関係の変化を整理し、読み深めた感想を交流しよう。 ・効果的なメモの取り方を確かめよう。 ・情報を比較・分類する方法を確かめよう。 ・目的や相手を明確にして題材を決め、情報を集め整理しよう。 ・構成を考え、文章にまとめよう。 ・漢字の組み立てに興味を持ち、偏旁冠脚と部首について理解しよう。 ・仮名と漢字を調和させて書こう。
6月	2 新しい視点で ・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・思考のレッスン1 ・話の構成を工夫しよう ・文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう ◎情報社会を生きる ・情報を集めよう	・本文を通読し、文章の中心的な部分を捉えよう。 ・段落の役割について考え、考えたことを発表し合おう。 ・本文を通読し、文章の構成に着目しながら要旨を捉えよう。 ・文章の構成に着目し、その効果を考えよう。 ・意見の根拠を確認することの大切さを理解し、説得力のある根拠について考えよう。 ・意見と根拠の結び付きを考えよう。 ・話題を決め、話の構成を考えよう。 ・スピーチの練習をし、スピーチの会を開こう。 ・言葉のまとまりについて考えよう。 ・調べる内容を絞り、情報を集めよう。 ・情報を読み取り、情報の適切な引用のしかたを考えよう。
7月	3 言葉に立ち止まる ・詩の世界 ・比喩で広がる言葉の世界	・作品を音読し、感じたことを交流しよう。 ・描かれた情景や表現の仕方について話し合おう。 ・本文を通読し、段落の役割を押さえて読み、内容を捉えよう。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉1 指示する語句と接続する語句</li> <li>・言葉を集めよう</li> </ul> <p>◎読書生活を豊かに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を楽しむ</li> <li>・本の中の中学生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示する語句について理解しよう。</li> <li>・友達に紹介したいものを決め、観点を決めて、言葉を集めよう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな読書活動を知ろう。</li> <li>・「本の中の中学生」の三編を読み、気に入った作品とその理由を友達と共有しよう。</li> </ul>
9月	<p>4 心の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大人になれなかった弟たちに……</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・星の花が降るころに</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き上手になろう</li> <li>・項目を立てて書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を通読し、描写に着目して登場人物の心情を捉えよう。</li> <li>・題名のもつ意味について考え、表記に込められた作者の意図を考えよう。</li> <li>・作品を通読し、「私」を中心に作品の内容を押さえよう。</li> <li>・場面や描写を結び付けて読み、印象に残った場面や描写を語り合おう。</li> <li>・きき方の工夫や質問の種類を知ろう。</li> <li>・案内文の書き方を確かめ、情報を整理し、案内文を作成しよう。</li> <li>・読み手の立場に立って、案内文を推敲しよう。</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み手の立場に立つ</li> <li>・言葉2 方言と共通語</li> <li>・漢字2 漢字の音訓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による言葉の違いについて関心を持ち、方言と共通語の違いを理解しよう。</li> <li>・漢字の読みには「音」と「訓」があること、歴史や性質を理解しよう。</li> </ul>
	<p>5 筋道を立てて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉」をもつ鳥、シジユウカラ</li> <li>・思考のレッスン2</li> <li>・根拠を示して説明しよう</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの展開を捉える</li> <li>・話題や展開を捉えて話し合おう</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読を楽しもう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を通読し、文章の構成と内容を捉えよう。</li> <li>・論の展開に注目し、その効果を考えよう。</li> <li>・課題を決め、調査を行おう。調査結果を整理し、レポートを作成しよう。</li> <li>・教材文を読み、「登山研修の思い出」についての展示内容の話し合いであるという目的を確認しよう。</li> <li>・話し合いの例文を聞き、当てはまる言葉を検討しよう。</li> <li>・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読しよう。</li> </ul>
11月	<p>6 いにしへの心にふれる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読を楽しもう いろは歌</li> <li>・蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から</li> <li>・今に生きる言葉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムを味わいながら繰り返し音読をしよう。</li> <li>・作品を通読し、古典の文章と現代の文章の違いを確かめ、描かれている古典の世界を想像しよう。</li> <li>・漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しもう。</li> </ul>

	<p>◎書きぞめ</p>	<p>・本文を読み、故事成語を理解しよう。</p> <p>文字の大小や業の中心に気をつけて書く。</p>
12月	<p>7 価値を見いだす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「不便」の価値を見つめ直す</li> <li>・助言を自分の文章に生かそう</li> <li>・文法への扉2 言葉の関係を考えよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を通読し、内容を捉えながら筆者の考えを要約しよう。</li> <li>・根拠を明確にして、意見をまとめよう。</li> <li>・作品を選び、内容や魅力を分析したのち、どの観点から論じるかを決め、書評を書こう。</li> <li>・言葉の関係について考え、「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」を理解しよう。</li> </ul>
	<p>◎読書に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考える人になろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「君たちはどう生きるか」「たのしい制約」の文章を読み、考えたことをグループで発表し合おう。</li> </ul>
1月	<p>8 自分を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少年の日の思い出</li> <li>・文法への扉3 単語の性質を見つけよう</li> <li>・随筆二編</li> <li>・体験を基に随筆を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を通読し、展開を捉えよう。</li> <li>・「僕」の心情の変化をまとめ、別の人物の視点から文章を書き換えよう。</li> <li>・「自立語と付属語」「活用の有無」「品詞」「体言と用言」について理解しよう。</li> <li>・作品を通読し、語句や表現の工夫に着目しよう。</li> <li>・筆者の考えや思いについて話し合い、自分の体験を振り返って伝え合おう。</li> <li>・随筆の題材を選び、具体的な材料を書き出そう。</li> <li>・構成を考え、随筆を書こう。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉3 さまざまな表現技法</li> <li>・漢字3 漢字の成り立ち</li> <li>・一年間の学びを振り返ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現や比喻による違いを挙げ、印象の違いを考えよう。</li> <li>・漢字の成り立ちについて理解し、分類しよう。</li> <li>・観点を決め、一年間の学習を振り返ろう。</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらの はなびら</li> <li>・学習を振り返ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報を整理し、話の構成を考えたのち、発表しよう。</li> <li>・詩を読み、印象に残った表現を発表しよう。</li> <li>・学習課題に取り組もう。</li> </ul>



<p>9月</p>	<p>◎読書生活を豊かに          ・読書を楽しむ          ・翻訳作品を読み比べよう</p> <p>4 人間のきずな          ・盆土産</p> <p>・字のない葉書</p> <p>・聞き上手になろう          ・表現を工夫して書こう</p> <p>・表現の効果を考える          ・言葉2 敬語</p>	<p>・さまざまな読書活動を知り、活動の内容に沿って見通しを立てよう。</p> <p>・二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べ、翻訳や外国文学について知ろう。</p> <p>・全文を通読し、作品の構成を捉えよう。</p> <p>・登場人物の言動の意味を考え、自分が捉えた作品の印象を伝え合おう。</p> <p>・全文を通読し、二つの思い出を整理しよう。</p> <p>・表現に着目して、人柄や心情について読み取ろう。</p> <p>・インタビューの準備をしたのち行おう。</p> <p>・手紙と電子メールを比較し、活用場面を考えよう。</p> <p>・伝えたい内容を決め、通信手段を選んだのち、書いてみよう。</p> <p>・より効果的な表現を考えよう。</p> <p>・敬語の使い方について考え、働きや種類を理解したのち、敬語の組み合わせについて考えよう。</p>
<p>10月</p>	<p>・漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字</p> <p>5 論理を捉えて          ・モアイは語るー地球の未来</p> <p>・思考のレッスン2          ・根拠の適切さを考えて書こう          ・異なる立場から考える</p> <p>・立場を尊重して話し合おう</p>	<p>・同じ訓をもつ漢字、同音異義語の使い分けについて理解しよう。</p> <p>・全文を通読し、文章の構成に着目し、内容を捉えよう。</p> <p>・論理の展開を吟味し、筆者の主張に対する考えを文章にまとめよう。</p> <p>・根拠を吟味する方法を理解しよう。</p> <p>・課題を決め分析したのち、立場を決めて考えをまとめよう。</p> <p>・賛成・反対それぞれの立場の人が、どんな意見を述べるのかを考える。</p> <p>・討論のテーマを決め、情報を集めよう。</p> <p>・立場を決めて考えをまとめ、グループで討論しよう。</p>
<p>11月</p>	<p>・音読を楽しもう 月夜の浜辺</p> <p>6 いにしへの心を訪ねる          ・源氏と平家</p> <p>・扇の的一「平家物語」から</p>	<p>・全文を通読し、詩を声に出して読もう。</p> <p>・表現に着目し、その効果について考え、言葉の響きやリズムを味わいながら朗読しよう。</p> <p>・「平家物語」の主要な人物や主な戦い、概要と文章の特徴を知ろう。</p> <p>・冒頭部分を音読し、独特の調子とリズム、言葉の響きを味わったのち、「平家物語」を貫く「無常観」のイメージを持とう。</p> <p>・全文を通読し、登場人物の言動から、心情を考えよう。</p> <p>・読み取ったことを基に、自分の考えを述べよう。</p>

<p>12月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•仁和寺にある法師―「徒然草」から</li> <li>•漢詩の風景</li> </ul> <p>◎書きぞめ</p> <p><b>7 価値を語る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•君は「最後の晩餐」を知っているか</li> <li>•魅力を効果的に伝えよう</li> <li>•文法への扉2</li> <li>•研究の現場にようこそ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•全文を通読し、内容を捉えたのち、法師と同じような勘違いをした経験がないかを踏まえて、考えたこと話し合おう。</li> <li>•全文を通読し、漢詩の特徴を生かして朗読しよう。</li> <li>•好きな漢詩を選び、その理由を伝え合おう。</li> <li>•文字の大小や行の中心に気を付けて書こう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>•全文を通読し、内容を捉えたのち、文章を比較して構成や表現の特徴を捉えよう。</li> <li>•作品を鑑賞し、表現の効果について考えよう。</li> <li>•動詞・形容詞・形容動詞の活用について理解しよう。</li> <li>•作品を通読し、感想を伝え合おう。</li> </ul>
<p>1月</p>	<p><b>8 表現を見つめる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•走れメロス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•全文を通読し、作品の設定と構成を押さえよう。</li> <li>•場面の展開に即して人物像を読み取り、作品の魅力をまとめ、語り合おう。</li> <li>•付属語について理解しよう。</li> </ul>
<p>2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•文法への扉3</li> <li>•構成や展開を工夫して書こう</li> <li>•言葉3 話し言葉と書き言葉</li> <li>•漢字3 送り仮名</li> <li>•国語の学びを振り返ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•これまでに学習してきた物語や小説を振り返ろう。</li> <li>•題材を考え、物語の設定とあらすじを考えたのち、物語を書こう。</li> <li>•送り仮名が漢字の読みを明らかに示すために付けられていることを確認し、練習問題に取り組もう。</li> <li>•壁新聞のテーマを決め、作成しよう。</li> <li>•詩を通読し、印象に残った表現を挙げ、どんな印象を受けたか話し合おう。</li> <li>•表現の意味を考え、作者のものの見方について語り合おう。</li> </ul>
<p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•木</li> </ul> <p>◎振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•学習を振り返ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•学習課題に取り組もう。</li> </ul>



3年	教材名	学習活動
4月	世界はうつくしいと  <b>1 深まる学びへ</b> ・握手  ・評価しながら聞く	・詩を通読し、特徴を生かして朗読しよう。  ・作品を通読し、設定を捉えよう。 ・登場人物の人物像と心情を読み取ろう。 ・ペットに関する討論会の一部を聞き、メモを取ろう。 ・評価しながら聞く練習をしよう。
5月	・学びて時に之を習ふー「論語」から  ・情報整理のレッスン ・文章の種類を選んで書こう  ・漢字1 熟語の読み方	・「論語」という作品について知り、孔子の考え方を読み取ろう。 ・日常生活や自分の生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまると思われる体験や伝聞を伝え合おう。 ・教材文を通読し、学習を振り返ろう。 ・グループで編集会議を開き、紙面構成を考えて下書きをしたのち、清書をしよう。 ・漢字二字の熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓を組み合わせた読み方があることを知り、練習問題に取り組みながら、理解を深めよう。
6月	◎硬筆  <b>2 視野を広げて</b> ・作られた「物語」を超えて  ・思考のレッスン  ・説得力のある構成を考えよう ・文法への扉1 すいかは幾つ必要?  ◎情報社会を生きる ・実用的な文章を読もう	・仮名と漢字を調和させて書こう。  ・全文を通読し、筆者の問題意識(話題)を捉えよう。 ・筆者の主張と論理の展開を捉え、評価しよう。 ・教材文を通読し、具体化と抽象化の程度について理解しよう。 ・話題を決めて、情報を集めよう。 ・文節・連文節の係り受けなど、既習の文法について理解を深め、文法の知識を表現や読解に生かすポイントを確認しよう。  ・社会生活の中で触れたことのある実用的な文章を挙げ、課題に取り組もう。
7月	<b>3 言葉とともに</b> ・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言葉を選ぼう ・言葉1 和語・漢語・外来語	・情景を想像しながら、それぞれの俳句を朗読しよう。 ・俳句についてまとめ、自分で俳句を作ってみよう。 ・言葉の変化について知り、話し合ってみよう。 ・和語・漢語・外来語から受ける印象の違いについて考え、それぞれの特徴を理解しよう。

	<p>◎読書生活を豊かに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を楽しむ</li> <li>・「私の一冊」を探しに行こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本の様々な探し方について知り、興味が持てそうな本を探してみよう。</li> <li>・見つけた本を夏休みに読み、書評やポップを書いてみよう。</li> </ul>
9月	<p>4 状況の中で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶—原爆の写真によせて</li> <li>・故郷</li> <li>・聞き上手になろう</li> <li>・論理の展開を整える</li> <li>・言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を通読し、冬至の時代背景について確認しよう。</li> <li>・「顔」という表現を捉え、効果を評価しよう。</li> <li>・作品を通読し、作品の設定を捉えよう。</li> <li>・場面や登場人物の設定に着目して読み取り、作品を批評しよう。</li> <li>・対談の準備をし、実際に行ってみよう。</li> <li>・学習課題に取り組もう。</li> <li>・慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解しよう。</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字2 漢字の造語力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい日本語が考え出された経緯を知り、練習問題に取り組もう。</li> </ul>
	<p>5 自らの考えを</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工知能との未来</li> <li>・多角的に分析して書こう</li> <li>・話し合いを効果的に進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の要旨を捉え、文章の比較をグループで討論し、考えを広げよう。</li> <li>・批評文について知り、観点を決めて分析しよう。</li> <li>・構成を考え、推敲して仕上げよう。</li> <li>・卒業文集のテーマ設定についての話し合いの例を聞き、論点を整理したのち、空欄に当てはまる発言を考えよう。</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合意形成に向けて話し合おう</li> <li>・音読を楽しもう 初恋</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合意形成の重要性を知り、課題を見つけ、議題を決めよう。</li> <li>・グループで具体的な提案を考え、全体会議を開こう。</li> <li>・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読しよう。</li> <li>・語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合おう。</li> </ul>
	<p>6 いにしへの心を受け継ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌の世界 古今和歌集 仮名序</li> <li>・君待つと一万葉・古今・新古今</li> <li>・夏草—「おくのほそ道」から</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「和歌の世界」を楽しみ、「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像しよう。</li> <li>・和歌を声に出して読み、和歌の世界を味わおう。</li> <li>・心に響いた和歌を一首選び、鑑賞文を書こう。</li> <li>・作品を朗読し、芭蕉のものの見方や感じ方を読み取ろう。</li> <li>・心に響く俳句について発表し、古典の言葉を引用してメッセージを送ろう。</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典名句・名言集</li> </ul> <p>◎書きぞめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を朗読し、気に入った名句・名言を選ぼう。</li> <li>・文字の大小や行の中心に気を付けて書こう。</li> </ul>

	<p><b>7 価値を生み出す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•誰かの代わりに</li> <li>•情報を読み取って文章を書こう</li> </ul> <p>•文法への扉2 「ない」の違いがわからない？</p> <p>◎読書に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•本は世界への扉</li> </ul> <p><b>8 未来へ向かって</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•温かいスープ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•筆者の考えを確認しながら全文を通読し、筆者の考え方について話し合ったのち、自分の考えをまとめよう。</li> <li>•グラフから情報を客観的に読み取り、自分なりの問いを立てて分析しよう。</li> <li>•構成や内容を考えて小論文を書き、助言し合おう。</li> <li>•「ない」の文法上の違いを理解し、練習問題に取り組もう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>•二つの作品を読み比べ、登場する人物の生き方について自分の考えを持ったのち、話し合おう。</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>•わたしを束ねないで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら、全文を通読しよう。</li> <li>•筆者の考える「国際性」とは何かを読み取り、自分の考えを持とう。</li> <li>•朗読を通して、詩のもつイメージを捉えよう。</li> <li>•作者の思いを読み取り、自分の可能性について考えよう。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>•三年間の歩みを振り返ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•三年間の学びを振り返り、冊子のテーマを決めたのち、構成を考えながら作成しよう。</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>•学習を振り返ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•学習課題に取り組もう。</li> </ul>